



2021年11月25日

NITE（ナイト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

News Release

毎年 100 件以上発生 ～ストーブ・ファンヒーターの事故に注意！！～

1. 事故の発生状況

2016年度から2020年度の5年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}のうち、ストーブ・ファンヒーターの事故は、北海道で合計71件ありました。そのうち、死亡事故が6件で火災を伴う事故が64件発生しています。最も事故発生件数が多い製品は石油ストーブの48件でした。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を図1に示します。

2016年度～2020年度のストーブ・ファンヒーターの事故71件が対象

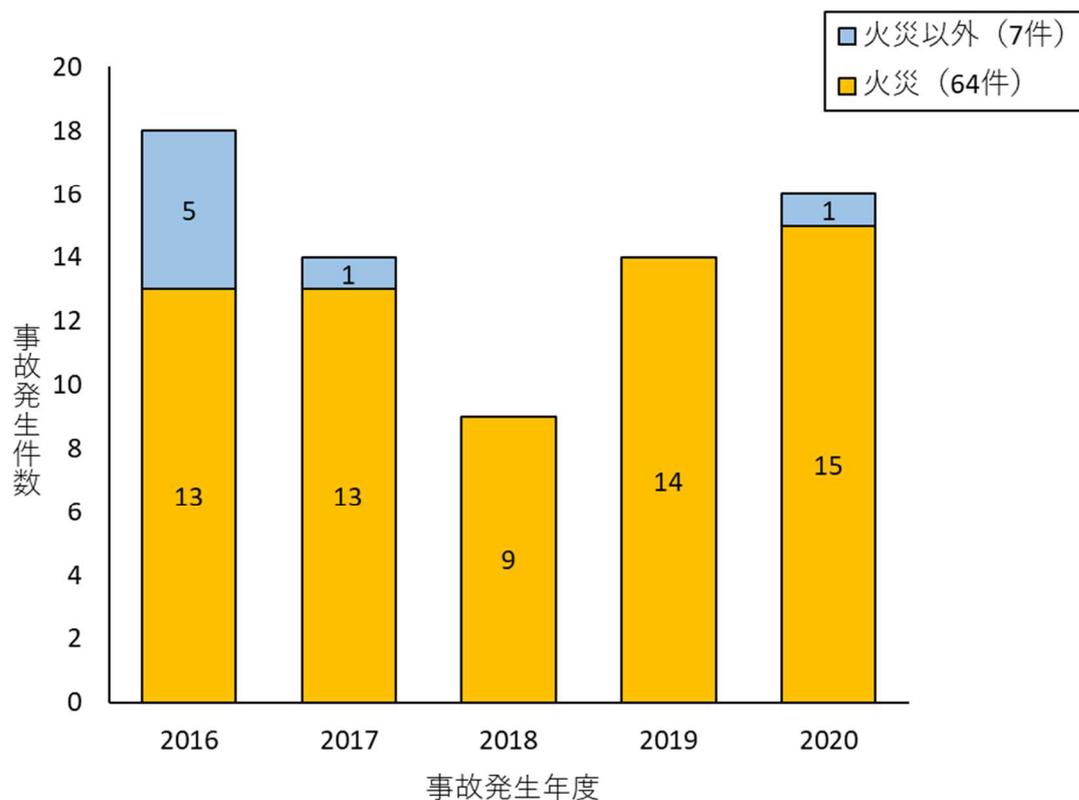


図1 年度別事故発生件数（2016～2020年度）

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を図2に示します。

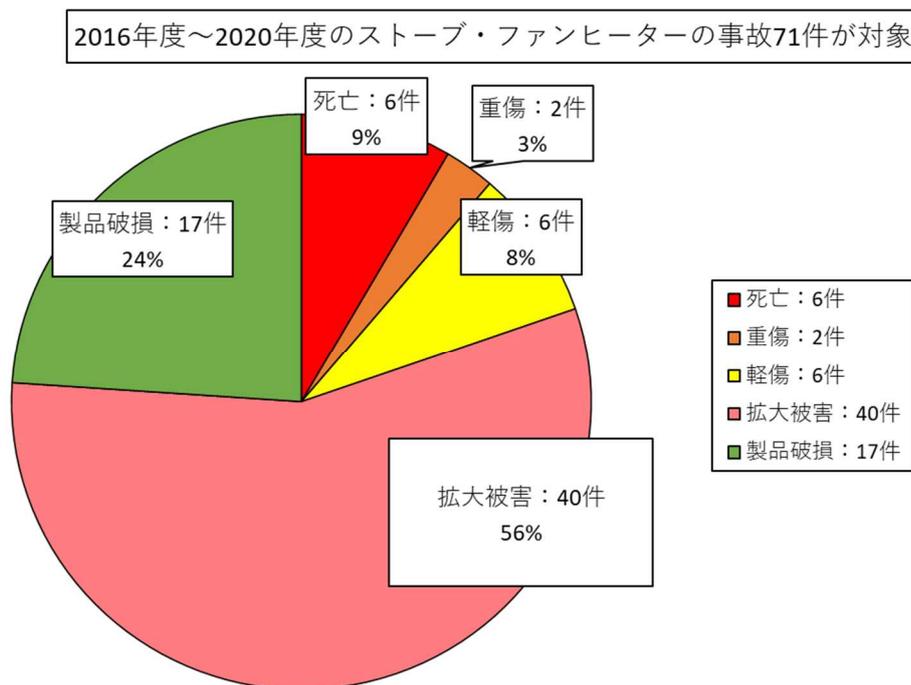


図2 被害状況別事故発生件数 (2016～2020年度) ※2

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) 電気ストーブ

○2018年1月(北海道、70歳代・男性、使用期間約3年、拡大被害)

事故内容: 使用中の電気ストーブ付近から出火し、周辺を焼損した。

事故原因: 電気ストーブの上にカレンダーが落下して覆ったため、焼損したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「燃えやすい物の近くで使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

(2) 石油ファンヒーター

○2018年12月(北海道、40歳代・男性、使用期間不明、軽傷)

事故内容: 使用中の石油ファンヒーター付近から出火して、住宅を全焼し、手に軽傷を負った。

事故原因: 使用者が温風吹き出し口から入った可燃物に気が付かないまま石油ファンヒーターを運転させたことから、可燃物が過熱、着火し、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「可燃物のそば等では使用しない。本体内に指や異物を入れない。」旨、記載されている。

(3) 石油ストーブ

○2020年1月（北海道、20歳代・男性、使用期間約1年4か月、拡大被害）

事故内容：石油ストーブ付近から出火し、住宅を全焼した。

事故原因：使用者が除雪機に使用するために用意していたガソリンを灯油と間違えて石油ストーブに給油したため、異常燃焼を起こし出火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガソリンなどの揮発性の高い油は絶対に使用しない。火災の原因になる。」旨、記載されている。

3. ストーブ・ファンヒーターの事故を防ぐポイント

- ① 可燃物の近くで使用しない。
- ② ガソリンを誤給油しないよう保管方法や保管場所に注意する。
- ③ 製造時から長期間経過している製品に注意し、不具合がある場合は使用しない。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者：鈴木、下川

電話：011-709-2324